



## 事業所における自己評価総括表

事業所名	おもちゃ箱つば並木				
保護者評価実施期間	R7年 1月 10日		～	R7年 1月 31日	
保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数)	34	
従業者評価実施期間	R7年 1月 10日		～	R7年 1月 31日	
従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10	
事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 20日				

### ○ 分析結果

	事業所の強みだと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の人数と専門性	集団、個別どちらにも対応できるように子供に対して職員の人数をできる限り配置している	職員個々のスキルアップを目指し、より充実した療育ができるよう取り組んでいく
2	プログラムの多様性	児童一人一人の特性、支援計画に基づく支援ができるようチームを組んでプログラムの月案、週案を作成している	楽しい活動と支援に必要な活動のバランスを考え児童、保護者共に満足していただけるプログラムの作成を心掛ける
3	利用者年齢層のバランス	年齢に偏りが出ないように2歳から5歳の児童の人数のバランスを意識している	利用希望と年齢、男女比のバランスの充実を図る

	事業所の弱みだと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	インクルージョンにおける外部との関わり	児童クラブや地域の集まり等との関わりを持つための活動を積極的に行っていない	今後、外部との関わりを持つための担当部署を設置するなどの対応ができるか検討していく
2	父母会やペアレントトレーニング等の保護者同士の関わり	土日、祝祭日が休業日で、児童発達支援と放課後等デイサービスの多機能事業所のため時間を作るのが難しい	土曜日を特別にペアレントトレーニングのための営業日に設定できるか検討していく
3	医療的ケア児、重症心身障碍児の受け入れ	個別対応の専門性と施設の構造的な問題	受け入れができる状況を作れるよう検討していきたい